

総選挙

菅政権 = 強権・無策の自公政治を終わらせ

野党連合政権で政治転換を **大平** よしのぶ

前衆議院議員 (比例中国・名簿登録予定者)

10月26日に開会した臨時国会の論戦を通じて、日本学術会議の人事に不法介入した菅政権の強権ぶり、第3波が心配される新型コロナ危機への無策ぶりが、いっそう明らかになっています。日本共産党の大平よしのぶ前衆議院議員は「次の衆院選・総選挙で菅政権を終わらせ、野党連合政権の実現で政治を転換しよう」と全力でダッシュ。



広島県民集会 (3日) に参加した大平前衆議院議員 (前列中央右)

大平 喜信のぶ  
日本共産党

大平 公式 LINE  
情報をお届けします  
ぜひ友達登録してください

Twitter  
ツイッターを  
カクサンして  
ください



中国地方  
中山間地域

子育て支援・定住策 先進的な取り組み  
地場産業の振興

コロナ後の日本社会のあり方も示唆

11月4日にライブ配信された「じゃけえ! 日本共産党」で、話題提供した大平前衆議院議員の発言 (大要) を紹介します。

この秋、中山間地キャラバンに取り組んできました。中国地方の107自治体のうち、多くが中山間地ですから。

9月に鳥根県・隠岐の島の4自治体を訪問。知夫村は村民600人の小さい村です。子育て支援策や移住・定住対策に取り組み、2019年度には人口の自然増を達成し、昨年度の合計特殊出生率も3を超えるまでに。住宅不足が課題になっているといいます。

西ノ島町では、有人国境離島法にもとづく住民の運賃や輸送費への支援拡充を、鳥取

県キャラバンで訪れた三朝町では、期限切れが迫る過疎地域特措法に引き続く支援策を強く求められました。湯梨浜町や江府町などでは、日本の食糧と豊かな自然を守っている住民への直接的な支援、所得補償などの必要性を痛感しました。

岡山キャラバンで訪れた新庄村では、特産のもち米で「ひめのもち」のブランド化に成功し、道の駅の売り上げも予想の3倍に。西粟倉村では、地球環境をも考慮しながら村で出来ること、林業を中心に

努力がおこなわれています。

コロナ禍の中で、ゆとり、自給自足、地産地消、持続可能性などのキーワードが注目を集めています。先進的な取り組みが中国地方各地でおこなわれています。私たち日本共産党も各地の取り組みに学ぶとともに、要望を国政に届け、期待に応えていきたいと思っています。



三朝町で副町長と懇談

大平 喜信 前衆議院議員  
いきいきニュース

制度解説

衆院比例代表は「**日本共産党**」と政党名で 候補者名では無効